

**S&PグローバルSustainable1は、日本のユニバーサル  
オーナーにサステナビリティ関連情報および人的資本  
に関するパフォーマンス分析を提供**

## **ケーススタディ**



**Horizons**

---

**S&P Global**

Energy

# 目次

01. はじめに	3
02. 課題	4
03. 解決策	5
04. ビジネスケースとサービス提案	7
ディスクレーマー	

# 01 はじめに

## 顧客:

年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF)

## ユーザー:

ESG・スチュワードシップ推進部

## 日本のサステナブル市場

サステナビリティに関する企業の取組みは、投資家、規制当局、従業員、顧客、そして非政府組織を含む企業のステークホルダーにとって、ますます重要性を増しています。日本の開示基準は、国際基準と同様に、事業にとって重要であり、企業価値の創出に影響を与えると考えられるサステナビリティの各指標に関して、企業の透明性を高めています。金融規制当局および有識者による委員会は、サステナブルファイナンスの推進、サステナビリティ報告の改善、および責任ある投資慣行の育成に貢献する政策や規制の枠組みを通じたサステナブルな経済成長への移行において、中心的な役割を果たしています。この内容に沿った主要なコードが二つ存在します。

- **日本版スチュワードシップ・コード:**「責任ある機関投資家」のための諸原則を定めており、投資先企業との「目的を持った対話」(エンゲージメント)などを通じて持続的成長を促進し、企業価値を高めることの重要性に焦点を当て、顧客・受益者の中長期的な投資リターンの拡大を図っています。
- **日本版コーポレートガバナンス・コード:**実効的なコーポレートガバナンスの実現に資する主要な原則をまとめたもの。企業に対して適切な開示と透明性の確保、取締役会等の責務、株主との対話など中長期的な企業価値の向上を促進する自律的な施策の採用を示した規範です。

これらは、日本におけるサステナブルファイナンスの中核を成しています。

## GPIFのサステナビリティ投資方針

**GPIFのサステナビリティ投資方針**には次のように記されています。「GPIFでは、「(積立金の運用は)専ら被保険者の利益のために、長期的な観点から、安全かつ効率的に行うことにより、将来にわたって、厚生年金保険(国民年金)事業の運営の安定に資すること」という厚生年金保険法・国民年金法の趣旨に基づいて、運用を行っており、サステナビリティに関するリスクの低減やインパクトの創出については、ポートフォリオ全体の長期的なパフォーマンス向上という目的を実現するための重要な手段と位置付けています。」

Horizons

**S&P Global**  
Energy



# 02 課題



## GPIFのサステナビリティ投資と目標

GPIFは、資本市場におけるサステナビリティ関連課題に起因する負の影響を軽減するために、持続可能性を考慮した投資（サステナビリティ投資）を推進しています。これには、環境・社会・ガバナンス（ESG）、社会・環境的効果（インパクト）といった非財務的要素に加え、財務的要素の考慮が含まれ、被保険者に対して長期的なリターンを確保することを目的としています。

GPIFが推進するサステナビリティ投資の取組みの一つに、ESG指数をベンチマークとした株式運用があります。GPIFが採用しているESG指数には、サステナビリティ関連の情報開示の量が多いほどESGスコアが上昇しやすく、指数に組み入れられやすいという傾向がみられます。また、情報開示は運用会社と企業との間での「建設的な対話（エンゲージメント）」のベースとなります。こうした背景から、GPIFは企業による情報開示の高度化に注目しています。

今般、GPIFは、次の二つの分野における理解を深めることを目指しました。ESGにおける透明性（または情報開示）、そして先進国市場の大・中型株に分類される企業が人的資本リスクと機会を管理する上での進展です。日本は人的資本に関する情報開示の規制枠組みを急速に整備しています。これはグローバル投資家の期待に応えると同時に、経営者・従業員・投資家といったステークホルダー間で人的資本の育成に関する相互理解を深める必要性を反映しています。

比較可能で高品質なデータは、GPIFによるESG指数投資をはじめとするサステナビリティ投資の推進の根幹にあります。そのため、企業のサステナビリティ（および人的資本）に関する実践を詳細に把握できる強固なデータ収集手法が必要とされました。分析に用いられる方法論やデータポイントを理解することは、望ましい成果を得るために極めて重要でした。

**比較可能で高品質なデータは、GPIFによるESG指数投資をはじめとするサステナビリティ投資の推進の根幹にあります。**

## Horizons

### S&P Global Energy

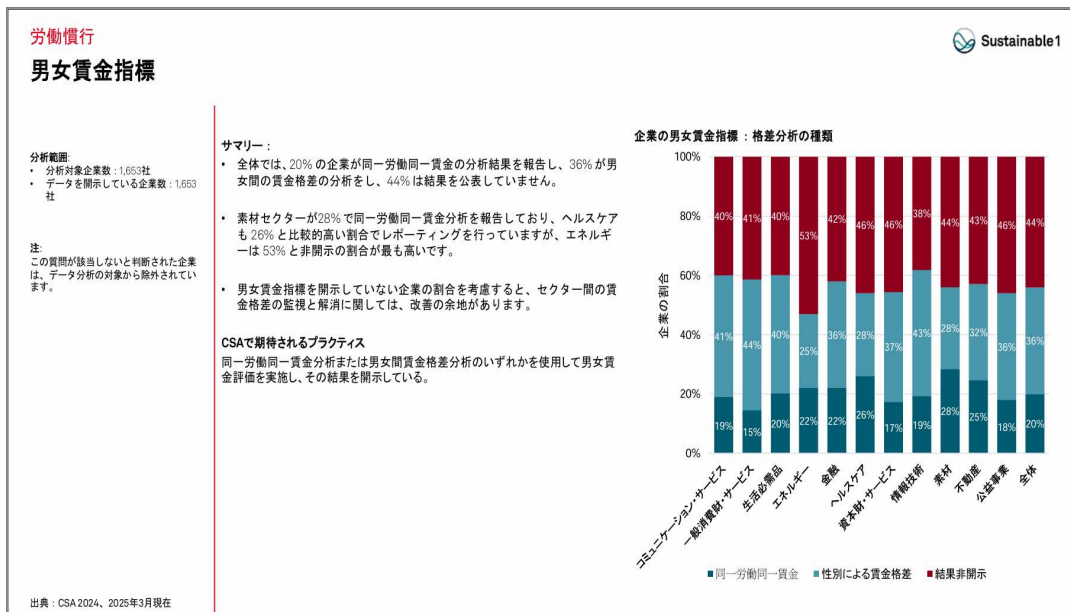
# 03 解決策



S&PグローバルSustainable1は、GPIFに対して、選定された100のESGデータポイント(詳細な回答)を用いた詳細なデータ分析の実施および包括的な分析支援を提供しました。成果物には、各データポイントの集計分析を示す構造化されたExcelシートと、選定された指標に関する記述および因果関係に基づく解説が含まれています。

これらの分析成果は、GPIFが「2024年度サステナビリティ投資報告」を作成するための基盤となりました。さらにS&PグローバルSustainable1は、GPIF向けに「サステナビリティ関連情報および人的資本に関するパフォーマンス分析」という補足レポートを作成しました。このレポートはGPIFの年次報告書の関連資料としてGPIFのウェブサイトに公開されています。

GPIFが公開した分析レポートは、選定されたESG指標における企業の透明性の傾向や、企業が人的資本のリスクと機会の開発・管理において達成した進展に焦点を当てています。調査対象企業は先進国市場における大・中型株に分類される企業であり、北米、欧州、アジア・太平洋(日本を除く)、日本の地域別の内訳に加え、世界産業分類基準(GICS)によるセクター別の内訳も含まれていました。



## サステナビリティ関連情報および人的資本に関するパフォーマンス分析

S&Pグローバルの分析(本分析)は、弊社のコーポレート・サステナビリティ・アセスメント(CSA)フレームワークを用いて、先進国市場において、大・中型株に分類される企業が主要なサステナビリティ関連の要因をどのように管理しているかを評価しました。

本分析は以下の2つを軸に実施されました。

- **サステナビリティ関連情報の透明性およびレポーティング:** 企業がサステナビリティ関連情報を包括的に開示しているかを評価。
- **人的資本:** 企業が、サプライチェーン全体にわたり、効果的な人的資本戦略、ガバナンス、説明責任を通じて、どの程度リスクの特定・管理を進めているのかを分析。

また、本分析は、日本、アジア・太平洋(日本を除く)、欧州、北米の企業を対象とし、投資判断を手助けする地域別ベンチマークと洞察を提供しました。

本分析が提供する4つの主要なポイント

- **地域別分析:** サステナビリティ関連の取組みを地域ごとに分け、地域別のパフォーマンスを比較できるようにしました。
- **人的資本:** 企業価値向上とリスク管理能力強化を目指す人的資本可視化指針で重視される、事業戦略と人的資本戦略を統合した施策としての人的資本管理がどの程度進展しているのかを分析しました。

- **サステナビリティ関連情報の透明性およびレポーティング:** サステナブルな成長と責任ある投資慣行を促進する手助けとなるESG指標は、グローバルおよび日本の開示基準により透明性が向上する可能性が示されました。
- **ガバナンスと説明責任:** サステナブルな成長を推進するために重視されるガバナンス枠組みである取締役会構成や、経営リスク管理などについて、その有効性と説明責任に焦点を当てました。

本分析は、サステナビリティと人的資本開発の進化・展開する状況を理解しようとする金融市場のステークホルダーに有益な情報を提供します。CSAを活用することで、企業は自社のESGパフォーマンスを効果的に計測し、サステナビリティ要素を戦略的に管理して改善点を特定し、ベストプラクティスに沿った戦略を策定することが可能となります。

# 04

## ビジネスケースとサービス提案



本分析は、金融機関や企業において、透明性の高い方法論に基づいた信頼性が高く、比較可能で、マテリアルなESGデータへの需要が高まっていることを示しています。方法論を明確に理解できる、透明性の高い高品質なデータセットを用いる事は、信頼性が高く意味のある洞察を導き出すために不可欠です。

この取組みを支援するために、弊社はS&PグローバルのCSA方法論とデータ検証アプローチを用いて顧客がESGデータを分析できるサービスパッケージを提供しています。このサービスは一貫した分析と比較可能なデータを提供し、顧客が自社のレポートや開示に活用することを可能にします。

### ESGデータと分析サービス



#### Capital IQ Proを通じたCSAデータへのアクセス

- 関連するESGデータポイントを探索できるようにする



#### CSA方法論紹介

- CSAフレームワーク、データ収集手法、スコアリング原則を紹介する簡潔なセッションであり、顧客がサステナビリティ指標を評価する際の方法論の関連性と適用を理解できるように支援することを目的としている



#### CSAデータ分析と洞察

- 選択されたESGデータポイントの分析を行い、主要なトレンドや潜在的な関係性を解釈するための記述的・因果的コメントを提供
- CSAで定義されたテーマに基づくデータ分析
- 成果物はExcelまたはPowerPoint形式で提供され、社内利用やサステナビリティ報告書への統合を支援



#### デブリーフィング・セッション

- 分析結果を顧客に説明し、成果物を順を追って解説することで、洞察を明確にし理解を確実にするためのディスカッション

### Horizons

### S&P Global Energy

## Disclaimer

This content (including any information, data, analyses, opinions, ratings, scores, and other statements) (“Content”) has been prepared solely for information purposes and is owned by or licensed to S&P Global and/or its affiliates (collectively, “S&P Global”).

This Content may not be modified, reverse engineered, reproduced or distributed in any form by any means without the prior written permission of S&P Global. You acquire absolutely no rights or licenses in or to this Content and any related text, graphics, photographs, trademarks, logos, sounds, music, audio, video, artwork, computer code, information, data and material therein, other than the limited right to utilize this Content for your own personal, internal, non-commercial purposes or as further provided herein.

Any unauthorized use, facilitation or encouragement of a third party’s unauthorized use (including without limitation copy, distribution, transmission, modification, use as part of generative artificial intelligence or for training any artificial intelligence models) of this Content or any related information is not permitted without S&P Global’s prior consent and shall be deemed an infringement, violation, breach or contravention of the rights of S&P Global or any applicable third-party (including any copyright, trademark, patent, rights of privacy or publicity or any other proprietary rights).

This Content and related materials are developed solely for informational purposes based upon information generally available to the public and from sources believed to be reliable. S&P Global gives no representations or warranties regarding the use of this Content and/or its fitness for a particular purpose including but not limited to any regulatory reporting purposes and references to a particular investment or security, a score, rating or any observation concerning an investment or security that is part of this Content is not a recommendation to buy, sell or hold such investment or security, does not address the suitability of an investment or security and should not be relied on as investment or regulation related advice.

The Content should not be relied on and is not a substitute for the skill, judgment and experience of the user, its management, employees, advisors and/or clients when making investment and other business decisions. S&P does not act as a fiduciary or an investment advisor except where registered as such. While S&P has obtained information from sources it believes to be reliable, S&P does not perform an audit and undertakes no duty of due diligence or independent verification of any information it receives.

S&P Global shall have no liability, duty or obligation for or in connection with this Content, any other related information (including for any errors, inaccuracies, omissions or delays in the data) and/or any actions taken in reliance thereon. In no event shall S&P Global be liable for any special, incidental, or consequential damages, arising out of the use of this Content and/or any related information.

The S&P and S&P Global logos are trademarks of S&P Global registered in many jurisdictions worldwide. You shall not use any of S&P Global’s trademarks, trade names or service marks in any manner, and in no event in a manner accessible by or available to any third party. You acknowledge that you have no ownership or license rights in or to any of these names or marks.

### Adherence to S&P’s Internal Policies

S&P Global adopts policies and procedures to maintain the confidentiality of non-public information received in connection with its analytical processes. As a result, S&P Global employees are required to process non-public information in accordance with the technical and organizational measures referenced in the internal S&P Global Information Security and Acceptable Use policies and related guidelines.

### Conflicts of Interest

S&P Global is committed to providing transparency to the market through high-quality independent opinions. Safeguarding the quality, independence and integrity of Content is embedded in its culture and at the core of everything S&P Global does. Accordingly, S&P Global has developed measures to identify, eliminate and/or minimize potential conflicts of interest for Sustainable1 as an organization and for individual employees. Such measures include, without limitation, establishing a clear separation between the activities and interactions of its analytical teams and non-analytical teams; email surveillance by compliance teams; and policy role designations. In addition, S&P Global employees are subject to mandatory annual training and attestations and must adhere to the Sustainable1 Independence and Objectivity Policy, the Sustainable1 Code of Conduct, the S&P Global Code of Business Ethics and any other related policies.

For information provided as part of the CSA questionnaire refer to our “Use of Information and Confidentiality Policy” [https://portal.csa.spglobal.com/survey/documents/Use\\_of\\_Information\\_Policy.pdf](https://portal.csa.spglobal.com/survey/documents/Use_of_Information_Policy.pdf) and for personal information provided to S&P refer to S&P Global’s Privacy Policy: <https://www.spglobal.com/en/privacy/privacy-policy-english>

See additional Disclaimers at <https://www.spglobal.com/en/terms-of-use>  
Copyright© 2026 S&P Global Inc. All rights reserved.

## Horizons

**S&P Global**  
Energy